

第1回 西宮市学校給食審議会 会議録

日 時	令和5年11月30日(木) 午前10時00分～午前12時00分	会 場	西宮市役所 JR西宮駅南庁舎 学校給食課5階会議室
出 席 委 員	◎浦上 拓也 ○高橋 享子 畑中 章文 田中 由紀 西井 美和 仙坊 真希 (◎は会長、○は副会長)	事務局 職 員	藤井 和重 教育次長 柏木 弘至 教育委員会参与 神田 裕行 学校給食課長 佐々木 秀樹 学校給食課担当課長 辻 章宏 学校給食課係長 宮西 邦典 学校給食課係長 升田 洋輔 学校給食課係長
欠 席 委 員	岡 敏行	事務局	なし
議 題	1. 開 会 2. 議 題 3. その他連絡事項 4. 閉 会		
署名委員	浦上会長	畑中委員	西井委員

事務局	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和5年度の第1回西宮市学校給食審議会を開会いたします。</p> <p>本日はご多忙の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは浦上会長、議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>おはようございます。</p> <p>まず冒頭ご挨拶をと思うんですけども昨今報道がありますように、非常に学校給食、全国的にいろいろ問題がありまして、我々も心痛めているところでもありますけれども。</p> <p>この伝統ある、そして歴史ある西宮市の学校給食をですね、何とか子供たちにとってよりよいものになるように、そして将来にわたってこう持続できるものになるように、ぜひ皆様に今日ですね、ご発言いただきまして、いろいろディスカッションしたいと思っておりますので、またどうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは議事を進めて参ります。本日は正午12時を終了予定としまして説明させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>それではまず議事録署名者を決めさせていただきます。</p> <p>本日の署名者は、畑中委員と西井委員。</p> <p>議事録署名者をお願いしたいと思っておりますが、お二人、よろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
委員	はい。
会長	よろしく申し上げます。
事務局	それでは傍聴について事務局からご説明申し上げます。
事務局	<p>はい。</p> <p>本日、傍聴希望者はございません。</p> <p>また、事務局よりですね、このタイミングで資料の確認とですね、本日の委員様の出席状況の報告をさせていただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様のお手元にはですね、本日お配りしております、議事次第とですね。事務局の職員名簿を配付させていただいております。</p> <p>事前にこちらから郵送させていただいております、右肩資料1番からですね資料7番の方まで。</p> <p>本日、ご持参いただく運びになっておりますが、お忘れの方はございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>資料7についてなんですけれども、中身としては大きく変わらないんですが、本日、全体のちょっと資料を差し替えたいということで、クリップどめをさせていただいておりますので、7につきましては、本日お手元にあります資料の方ご覧いただきまして、そちらを持って進めたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>もう1点ですね、委員の方の出欠状況につきまして、本日ですね、ご公務の都合で山口中学校校長の岡校長がご欠席ということで本日ご連絡をいただいておりますので、どうぞよ</p>

会長	<p>ろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上になります。</p> <p>はい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議題の（1）委員の紹介について事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>この度ですね、委員の方の交代がございましたので、私の方からご紹介をさせていただきます。</p> <p>11月1日付けで委員となりました、西宮市PTA協議会、西井 美和様でいらっしゃいます。</p>
委員 会長	<p>西宮市PTA協議会で会計をしております西井です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ご挨拶いただき、ありがとうございます。</p> <p>それでは続きまして事務局職員の紹介をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>事務局職員について紹介させていただきます。</p> <p>事務局名簿をご覧ください。</p> <p>名簿の上から順番に、ご挨拶させていただきます。</p>
事務局	<p>教育次長の藤井でございます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>教育委員会参与の柏木でございます。</p> <p>よろしく願います。</p>
事務局	<p>失礼します。学校給食課長の神田と申します。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>学校給食課担当課長で、佐々木と申します。</p> <p>よろしく願います。</p>
事務局	<p>学校給食課調達チーム係長です。辻と申します。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>学校給食課収納チーム係長の宮西と申します。</p> <p>よろしく願います。</p>
事務局	<p>学校給食課管理運営チーム係長升田です。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 会長	<p>以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは議事を進めて参ります。</p>
事務局	<p>議事次第に従いまして議題（2）報告事項のA 令和4年度決算につきまして事務局からご説明お願いいたします。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p>

それでは、「令和4年度決算」についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。3ページに渡って記載しております。

1ページ目の1番上の表をご覧ください。これは市の全体の一般会計歳出予算と教育委員会所管分の歳出予算をお示ししています。そして、それ以下の表は給食費としまして調理員の人件費と、あと予算事業で4つの事業の決算額を上げさせていただいております。

説明につきましては、細かい説明は省略させていただきまして、大幅な増減があったところについて御説明を申し上げたいと思います。

まず、1ページ目の上から2つ目の表をご覧ください。調理員の人件費でございます。全体といたしまして、対3年度で約2,885万円の減となっております。正規職員は3名減などにより約3,649万円減となっております。一方、代替調理員については新型コロナウイルス感染症の影響で出勤回数が増加したことに伴い、約467万円増となっております。

次に予算事業、給食管理運営事業でございます。3つ目の表をご覧ください。これは、給食管理の全般にわたる事業になります。給食管理運営事業には、歳入の特定財源がございまして、給食室で不要になった揚げ油を廃油業者に買い取っていただいている「学校給食廃油売払（うりはらい）収入」と、「学校給食費基金運用利子」の収入が約339万円ございます。「学校給食廃油売払（うりはらい）収入」については、油の売払（うはらい）単価が上昇したことにより、約140万円増となっております。

次に歳出にうつります。1番下の表をご覧ください。「07 報償費」の増減が大きいです。これは新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせた講習会の講師謝金などが減少したものです。

次に、2ページ目をご覧ください。

「10 需用費」の<06 印刷製本費>が対3年度で119万1,522円減となっております。主な理由といたしまして、給食費の納入額決定通知書の印刷単価が減少したことによるものです。

続いて表の中の下から5つ目の行「17 備品購入費」についてですが、対3年度で約308万円の増となっております。これは、学校給食室で使用する食器洗浄機等の備品に関しまして、耐用年数により年次的に交換を進めているため、その年度に買い替える備品の種類や数量によって増減があるためです。また、昨今の材料費の高騰により、備品の単価も上昇していることも影響しています。

給食管理運営事業につきましては、以上でございます。

つづきまして、単位事業の給食物資購入事業です。3ページ目の上から1つ目と2つ目の表をご覧ください。

これは保護者の皆様からいただきました給食費で給食食材を購入する事業でございます。特定財源である現年度の給食費負担金収入は、1つ目の表の一番上の行に記載していますとおり、全体で、10億1,519万6,461円となっております。令和4年度は10月より給食費支援事業を実施し、給食費の保護者負担を実質0円としましたため、令和3年度と比べて大幅な減となっておりますが、当該事業の財源として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、7億9,162万9,112円を充当しております。

また、食材費の高騰対策にも同交付金を活用する等しており、物資購入に係る収入は合計で18億8,546万3,035円となりました。

それに対しまして、歳出についてですが、次の表をご覧ください。歳出額の合計が合計18億9,691万276円となっており、1,144万7,241円の赤字決算となっております。

この赤字決算につきましては、令和4年度中に回収した過年度給食費負担金収入633万1,518円と相殺した上で、残りの511万5,723円については、出納整理期間中に学校給食費基金を取り崩しております。

学校給食費の収入状況については、後ほど詳しくご説明いたします。

歳出のうち、「10 需用費」の<05 食糧費>が対3年度で8,933万8,519円の減となっている理由につきましては、児童生徒数が減少したこと等により食数が減少したためです。

給食物資購入事業については、以上でございます。

つづきまして、給食施設設備整備事業です。上から3つ目の表をご覧ください。これは、主に老朽化した給食室の工事や備品の耐用年数に伴い買い替え等を行う事業です。

表の「12 委託料」につきましては、翌年度に実施する給食室の天井・空調整備工事や給水給湯管交換工事に係る設計委託の費用となります。

表の「14 工事請負費」と「17 備品購入費」の増減につきましては、年度により工事内容や買い替えを行う備品の種類と数量が異なるために、その年度によって増減がございます。また、昨今の材料費の高騰により、工事費や備品の単価も上昇していることも影響しています。

給食施設設備整備事業につきましては、以上でございます。

なお、4つ目の表の学校給食課執務室移転事業は第二庁舎（危機管理センター）整備に関連した庁内機能の再配置による江上庁舎解体に伴い、学校給食課執務室をJR西宮駅南庁舎に移転した事業です。この事業は令和3年度の単年度事業となりますので、対3年度はすべて皆減となります。

ここで説明員が交代いたしますので、よろしく願いいたします。

事務局

はい。学校給食課収納チームの宮西です。

学校給食費の収入状況について、ご説明させていただきます。

それでは、お手元の「資料3」の一番うえ、「1. 学校給食費 収入状況」をご覧ください。表は、端数を切り捨てた記載となっております。表の一番下の「計」、「現年度分」の行をご覧ください。

令和4年度の学校給食費は、全体で、10億1735万2千円の調定額に対し、10億1519万6千円の収入額があり、収入未済額は、215万5千円、収納率は99.8%でした。

次に、令和3年度以前の滞納分です。

今、ご覧いただきました「現年度分」のすぐ下に記載しております、「滞納繰越分」の行をご覧ください。

令和4年度における滞納繰越額3,175万3千円に対し、633万1千円の収納となりました。弁護士に滞納解消相談等業務を委託する等して回収に努めましたが、昨年度の867万円からは約230万円の減額となりました。

<p>会長</p>	<p>これにより、平成 25 年から令和 3 年度分の令和 5 年度への滞納繰越額は、合計で 2,542 万 1 千円に増加しております。</p> <p>滞納整理につきましては、督促状の納付期限を過ぎた段階から、電話による啓発及び、納付指導に着手することで、滞納額増加の防止に努める他、児童手当の充当による支払について、電話や督促状、催告書への案内文の同封等より周知を行い、確実な未収金の回収に繋げるよう努めております。また、3 年度からは弁護士に学校給食費以外の債権を含めた滞納解消相談等業務の委託している他、4 年度からは市の納付案内コールセンターに参加し、現年度分給食費の口座引落不能者に対して納付の呼びかけを行うことで、新たな滞納発生の抑止を図っております。</p> <p>続きまして、令和 4 年度西宮市学校給食費基金運用状況については、資料の「2. 学校給食費 基金運用状況」とおりとなっております。令和 4 年度末時点で基金残高は 1 億 7,009 万 6,209 円となりましたが、出納整理期間中に先ほどご説明いたしました令和 4 年度決算における赤字額 511 万 5,723 円と過年度給食費返還金分の 1,289 円を取り崩して、1 億 6,497 万 9197 円となりました。</p> <p>以上で資料 3 の説明を終わります。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまのご説明につきまして何かご質問、ご意見等ございますか。</p> <p>単純な質問なんですけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>半年間免除していただきました。なお、500 万ほどの赤字決算っていうのはやはり、先ほどおっしゃったその食材費高騰というものが、一番の大きな原因ということでしょうか。</p> <p>はい、おっしゃる通りですね。食材費が高騰しておりますので、収入というのは、保護者さんが負担するお金というのは、年度当初決まっている額からですね、食数を乗じたものを収入としているんですけども、やはりですね、その給食費に見合った食材というのを購入していく中で、どうしても物価が高騰している分、食材の価格が高くなる。すると、収支のバランスがどんどん崩れていくことによって、赤字が発生するというような仕組みになっておりますので、今浦上会長がおっしゃられた通りですね、物価の上昇につきまして、やはり基金を取り崩さなければならない状況というのが続いているというところがございます。</p>
<p>会長</p>	<p>本来基金の運用っていうのは、冷夏が来たり、猛暑が来たり、気候変動などによって、そういった一時的なその影響による変動を吸収しようっていうことだったんですけど、今はもうずっとずっと食材費が上がり続けてるものを基金を取り崩すっていうやり方でやってるのか、本来のその基金の使い方とちょっと、まあちょっと違うのでやはり、ちゃんと単年度でバランスするように、考えていかないといけないっていうことですね。</p> <p>で、3 ページの上の表の歳入歳出に関しては、給食に関わっての歳入歳出になります。</p> <p>ですから私も子供が中学校で給食をいただいておりますので、私も給食費は当然払うんですけど、私たちが払ってる給食費っていうのはここに書いてある食材というところで、人件費とか或いは施設に関わる整備費等は全部、西宮市の会計から負担していただいておりますので、本当に給食費我々がお支払いしてる分というのは、食材にかかるものにもかかわらず赤字</p>

	<p>です。</p> <p>それは本当に食材費の高騰というところで。あとでまたご説明があると思いますけど、それに対してどのような対応をしていただいているかっていうところが、親としては非常に心痛い部分もあるんですけど。一応残念、残念というか、非常に厳しいんですけど。今の給食費、我々が負担してる分では、給食が成り立たないっていうのが、もう明らかだっていうのは、理解していただく必要があります。</p> <p>それに対してどうするかってのは考えていかないといけない。また順調にイベントが復活して我々も弁当を作る機会が増えて。ワンオペなので、ついお弁当忘れてしまって、弁当持ってきてほしいと。</p> <p>児童が減ってるということが非常に人口減少の影響があるっていうことは非常に深刻な状況ですけども反面、イベントが増えて子供たちは、いろいろな活動が戻ってきてるっていうのは非常に喜ばしいことかなと。はい。どうぞ。</p>
委員	<p>コロナの影響で研修会など開催を見合わせたということなんですけれども、今後は再開されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。はい。</p> <p>令和5年度につきましてはかなりですね、今まで集団で集まることができなかった、チーフ調理員であったりですね、嘱託調理員さんを集めた夏の聴講研修といったところも、久々に開催が復活できたところございまして、そういったところでは、コロナ前の状況に近い状況に今戻ってきてる状況でございます。</p>
委員 事務局	<p>中止にした研修会は中止にする代わりに何か代替措置があったのか。</p> <p>研修の種類によりましては、その資料配布等を行って、補った部分がございますけれども、すべての中止になった研修に対して代替措置を取れたかというところ、そういったところは取れなかったものも一部ございます。</p>
委員 委員	<p>わかりました。</p> <p>3ページの給食施設設備整備事業の表の見かたを、ちょっと教えていただきたいんですけど。</p>
事務局	<p>はい。14番の工事請負費。予算現額と決算額がかなり違うんですけど、これはどういうふうに考えたらよろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>これにつきましてはですね、空調設備整備事業といったところが影響しております。空調のためにですね、来年度予算を編成するんですけども、この空調工事というのは、国からのですね、交付金を受けておりまして、その交付金を優位に進めるために前倒しをして、予算を確保する都合がございまして、そのために当初予算のものと、前倒しをして繰り越した予算というのが、同じ工事について二つの予算がつくというような状況がございます。</p> <p>そのために一時的に予算現額が増えるんですけども、もちろん繰り越した予算によって工事を施工いたしますので、当初予算については、これを補正の減という形で落とすことによって、その差額が生じるということになります。</p>

	<p>要するに交付金を優位に進めていくために、こういった予算措置をしているといったところがございます。</p>
委員	<p>空調の方が順調に整備されてると思うんですけど、何とか早くつけていただきたいということで聞かしていただきました。</p>
会長	<p>今年の夏、ものすごく暑い。 そのあたりで、問題など、ありましたでしょうか。</p>
事務局	<p>正直なところ、全く問題がありませんでしたという状況ではございませんで、やはりこの暑さになりますので、労働環境であったりとか、もちろん給食室は火を使うものになりますので、ものすごく高温多湿な状況の中で、調理員様の頑張りの中で何とか給食を実施いただいたというところではあるんですけども。 やはりその空調の設備を整えるところにですね、これには一定の予算がかかって参りますので、なかなか全校一斉にといったところが難しい。 その中でですね、できること、暑さ対策というのを図っているところでございます。 例えばですが、学校予算で今スポットクーラーをご購入いただいておりますとか、クールファンベストを市が購入してそれを貸与するというような形で、何とか暑さ対策を軽減できるようなものといったところの措置は行っているんですけども、これにつきましては今後も、新たな備品であったりですね、消耗品といったところを、研究整理しながら、必要に応じて配備の方を行って、努めていきたいと思っておりますので、空調が設置できなかったから終わりではなく、それに代わる暑さ対策というのを並行して進めていかねばならないというふうに思っております。 以上です。</p>
会長	<p>工事現場でね、よくファンの服あります。 あれって調理員の方は使えないんですか。</p>
副会長	<p>いや、しない方がいいと思うんですよ。 その厨房なんかは埃が舞うかもしれないのでちょっとそれはどうかと思うんですけども。ちゃんとした装置をつけられて、常にその人が働く環境であるかどうかをチェックされる必要があると思うんですね。</p>
事務局	<p>体感だけではなくて、今何度で、湿度が何%で、これだったらもう異常だから、すぐ対策しないとイケない。 おっしゃる通り、実はクールファンベストを今貸与してる状況ではあるんですけども、なかなか使い勝手が悪いということで、ちょっとそれに代わる暑さ対策になる他のベストであったりとかっていうのを今研究はしてはいるんですけども。 今おっしゃられた通り、室温であったりとか、湿度といったところっていうのが、やはり基準を超えてくるというものになりますので、今積極的に調理員さんの方で、水を飲む時間であったり、休憩する時間というのを、もう一定期間決めてしまう。適宜となるとどうしても手遅れになってしまうので、そういった給食室の調理の工程の中で、暑さ対策にも図っていただいているところがございますので、そういった事例であったりとかというのを研究しながら、労働環境についての改善といったところは今後も進めて参りたいと思って</p>

副会長	<p>おります。</p> <p>環境が悪かったら保健所のいろんところから指摘があるかと思しますので、それはきちっと守られた方がいいと思います。</p>
事務局 会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p>今、どこも人手不足で本当にもう事業が進まないっていうのが、人がいないからっていう。お金がないんじゃないくて、人がいない。人の手当てがものすごく難しくなって、どこから人がいなくなるかっていうと、いわゆる 3K というところですよ。</p> <p>調理員さんの労働環境がこのまま改善されなければ、そこに人を配置するっていうのがもっとも難しくなる可能性もある。</p> <p>民間の調理員さんも、ものすごく今人手不足です。</p> <p>そこの競合となると、今、単価がどんどん、ね、民間ほど上がってきてますから。今オーストラリアとかマクドナルドのアルバイトが時給 3,000 円。なので、日本からオーストラリアにアルバイトしに行くっていう状況。ただ、同じく物価も高いので相殺されてるんでしょうけども。</p> <p>もう本当にそういう意味では日本も今ちょうどね、長期金利いよいよ上がってくるっていうところで、おそらく労働単価もどんどん上がってくるでしょうし、そこの競合となると。いよいよ厳しくなると思います。</p> <p>せめて労働環境の改善は早く手を打たないと。後々大変になるんじゃないかと思えますけど。ぜひご検討よろしくをお願いします。</p>
事務局 会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他何かご質問等よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
事務局	<p>それでは次の議題に進みたいと思います。</p> <p>議題の (3) のその他のア令和 4 年度学校給食における食物アレルギーに係る誤食及び誤配件数について、事務局からご説明お願いいたします。</p> <p>学校給食課管理運営チームの升田です。</p> <p>令和 4 年度の学校給食における食物アレルギーにかかる誤食及び誤配件数について説明させていただきます。資料 4 をご覧ください。令和 4 年度に発生いたしました誤食および誤配事故につきましては、小学校で 3 件、中学校で 5 件の計 8 件となっております。学年別で見ましても、特に偏りはなくほとんど全ての学年で発生しております。</p> <p>なお、令和 3 年度は計 9 件発生しておりました。</p> <p>全体 8 件の事故原因の内訳ですが、</p> <p>8 件のうち 5 件が、保護者から提出されたアレルギー献立チェック表では食べられないとなっていたにもかかわらず、喫食前のチェック表の確認漏れにより誤配・誤食したもの、2 件については、当日の献立を前日などの食べられる献立と勘違いにしたより誤配・誤食したもの、</p> <p>最後の 1 件が、朝学活及び喫食前の確認は行ったが、クラス全体での確認のみで対象生徒に直接確認はせず誤配したもの、となっております。</p>

<p>会長</p>	<p>全体 8 件のうち、3 件において症状が発現し、2 件については症状発症から一定時間経過後、残り 1 件については病院を受診後に症状は改善されています。</p> <p>誤配・誤食が起こった際は、学校給食課が直接学校への訪問等をいたしまして、状況を詳しく聞き改善策を含めた指導を行っています。今後も事故防止に向けて、各種会議や研修等でのアレルギーマニュアルの運用の徹底を行ってまいります。</p> <p>誤食および誤配については以上となります。</p> <p>ありがとうございました。それではただいまのご説明につきまして、ご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>副会長 事務局 副会長</p>	<p>誤食っていうのは、何年生ぐらいの児童なんですか。</p> <p>少しだけ確認させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>実はですね、その誤食をするっていうのは、子供さんは自分が何のアレルギーかってことは、知っているはずなんですけれども。</p>
<p>事務局</p>	<p>やはり低学年のお子さんに関しては、その辺りの意識、意識はしてるんだけど、ご家族に頼っているっていうのがありますので、低学年ではないかなと思ってるんですけど。アレルギーのお子さんに対しては、やはりご家族からの協力も必要ですし、学校においても、栄養教諭の先生とか、養護の先生ですね、養護の先生が、やはり個別の指導をされて、食べたら苦しくなるよとか、そういう教育を年に 1 回でも個別指導されると効果的かなって思いますけれども。文科省も個別指導は重要だと言ってますので。そういう少し手間ですけども、学校における配慮が必要かなと。</p> <p>だんだん年齢が上がるにつれて、もう自分で 5 年生、6 年生までになると、もう、自分でもう駄目っていうことがわかっていて、おじいさんおばあさんから薦められても食べないし、友達の家に行ってお母さんから薦められても、食べませんってはっきり言えるんですけど。</p> <p>やっぱり小さなまだ 1 年 2 年のお子さんは、そういうのがまだ言えない年齢でいらっしゃる。</p>
<p>副会長 事務局 副会長</p>	<p>手元の資料で確認をしたんですけれども、誤食の件数というのがこの 8 件のうち 5 件ありまして、学年別に見ましても小学校 1 年生、4 年生、6 年生、なので小学校の事例についてはすべて誤食に至っているというところになってまして、中学校については、2 件、5 件のうち 2 件が誤食にまで至っているということで、学年別に見ると中学校 1 年生 1 件、3 年生 1 件となっております。</p> <p>中学生でもいらっしゃる。</p> <p>そうですね。</p> <p>そうするとやっぱり先生とか、養護の先生に、年に一回は個別教育が、西宮市としても、教育効果が表れてくるんじゃないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃられる通りでございます。いわゆる自己判断能力の育成を図ることというのも、厚労省のマニュアルにも規定されている通りでもあることから、中学校卒業されると、どうしても高校でとなるともうここから本当に自分たちでこう判断しなければならないということもございますので、原因となるアレルゲンを取り除くといったところも一つなんです。</p>

	<p>すけれども、アレルギー対応として自己判断能力の育成といったところも、やはり重要な点かなと思いますので。そういったところの育成を図れるような、またこちらも検証させていただければと思いますので。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>誤食しやすいメニューとか傾向みたいなのはあるんですか。ぱっと見てわかる食材、例えばエビだとか、果物だとかはぱっと見てはわかるんですけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>今これといったメニューが多いというわけではないんですけど、おっしゃられた通りですね、食材に起因した形で、そのアレルギー事故が発生してる場合もございますし、様々なデータのもとに、傾向を割り出さなければいけないというふうに私も感じておるところでして、今年度からそういったところ細かく分析をするように、アレルギー事故報告をいただいた内容については、どの食品があって、どの献立であったか、またどういう状況が原因だったのかであったりとかそういったところを今データとして蓄積しているところでございます。</p> <p>そこのデータからですね、一定の傾向等があれば、またより効果的な対策も講じることができかなと思いますので、今ご意見いただいた通りそういったところも、分析の方ですね、していきたいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>どうぞ。</p> <p>私も教育の方が必要なと思うんですが、今年度のことなんですけど、長期間、卵の方が出ないことがあって、ちょっと教室の方でもその除去食というかがちょっと忘れ去られてるわけじゃないですけど、最近除去ないよねっていうことでちょっと油断してるっていう空気感がありました。なので、除去があるよっていうのを意識することが大事なかなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>栄養教諭さんがおられるので、その辺すぐくしっかりと見届けていただいているんですがやっぱり栄養教諭さんも、大事です。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに今年度一定期間、卵を使った料理が提供できておらず、鳥インフルエンザの影響によりまして、卵は一旦供給がほとんどなくなった時期があって。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>高いですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>また本市は液卵の方を使っているんですけども、今、供給量は戻ってはきたんですが、やはり価格面でですね、まだ戻りきれてないところがございまして、なかなか鳥インフルエンザ前と同じような形の献立の回数にはまだ至っていない状況でございます。</p> <p>また最近少しずつニュースで、鳥インフルエンザが発生したというのもちょっと聞きましたところなので、そういったところでまた学校給食の方にも影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>そういったところでも一定のやっぱり除去食であったりアレルギー対応といったところを、啓発であったりですね、意識づけが途切れないような形というのは、今ご意見いただいて痛感したところでございますので。またそれについても、こちらも研究して参りたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどデータを蓄積ってことなんですけど。非常に少ないですよねもともと。どうやって</p>

	<p>見ればちょっと私もそういう分析を大分やってるんですけど。 やっぱりサンプルが多くないとっていうのはあるんですよ。 そうですね西宮市以外も同じく、そういったデータを蓄積されてるんであれば、やはり例えば兵庫県内でデータを共有化すれば、西宮市で、8件ぐらいであれば、その市町村の数だけ、増えますので、全体の傾向が、より我々の言葉で統計的にも意味のある傾向が見れるんじゃないかなと思います。</p>
事務局 会長 委員	<p>ちょっとその辺り、他市町村と連絡をとられて、データベースを共有化できるようにされた方がより意味のある情報をそこから取り出せる。是非ご検討いただければと思います。 ありがとうございます。 どうぞ。</p>
	<p>さきほどアレルギー対応の教育のお話、出ていたと思います。市の方でもチェックマニュアルという形で年度当初にどのようにアレルギー対応を行うかっていうのを、教職員の中で意思統一できるような資料を作って、全校に配布してそれを使って職員に指導するっていうのもありますし、保護者の皆様へ向けての資料も作っています。あとは各個人、アレルギーをお持ちの児童・生徒が自分がどのようにしたらいいかっていうのをわかりやすい1枚のリーフレットを作ったりとか、保護者の方に見ていただけるように作っておりますので、それを全部の学校で漏れなくできるようにして、保護者の方にも今日はこれを食べたらだめだなんていうものがあるときに、登校前に保護者から声掛けしていただくとか、そういうのもご協力いただきながら、児童・生徒を育てていけたらいいなと思っています。毎年年度当初に保護者の方と面談させていただくんですけども、その時にも毎日献立チェックしていただいているので一言声掛けしてほしいということを言っていますので、ご家庭と学校と協力して子供を育てていけたらと思っています。</p> <p>市の方でもしっかりアレルギー対応の資料を作っておりますので、それがもっといいものになるように研究していかないといけないなと思いました。</p> <p>私も気になったところが、この事故原因の欄の5つ目の、アレルギー献立チェック表の備蓄献立を当日の献立と勘違いして確認を行って誤配誤食したとあります。これは、4月から11月までアレルギーチェック表の一番最初の欄に備蓄献立という欄があるんですね。警報などが発令された場合に、給食がなくなって備蓄献立を提供しますってなったときに利用されるチェック表なんですけれども、これが12月からは備蓄献立がなくなりますので、その欄がチェック表からなくなるんですね。なのでそういう間違い、勘違いが起こるかなと思うので、このあたりをもうちょっと担任の先生方もぱっと見てわかる形になればいいなというふうに思いました。システムの関係で、難しいのかなと思います。備蓄献立だけを取り上げてチェックできたらいいなと思います。</p>
副会長	<p>そのようなちょっとした工夫で、事故っていうか、ヒヤリハットが変わると思いますのでそれは皆さんの意見を聴かれて、そしてそこで修正されたらいいんじゃないかなと思います。</p>
事務局	<p>わかりました。 またそういった意見であつたりとか、ヒヤリハットでですね、防げるようなものについて</p>

<p>会長</p>	<p>は、様式であったりそういったところを変更することによって、少しでも推進できるものでしたら、それは進めて参りたいなというふうには思っております。</p> <p>あとシステムに対する改修費が伴うものですので、その費用対効果であったりとかっていうのをきっちり検証しながら、行っていきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私も1人の親としてですね、先ほどのこういったアレルギーに対する理解とか、これはもう、そのアレルギーを持つご本人、子供さんだけじゃなく、周りの友達そして我々、その子供というところで理解を高めていかないといけないと思います。</p> <p>何せその毎日毎日、学校からいっぱいこの情報が送られてくるので。その中のその情報の感度とといいますか、何が重要で何が重要でないのかっていうのが、なかなかちょっと把握しづらい。</p> <p>ただ、一方でミマモルメでピンポイントでポンといただくと、それはそれで何かこう、情報として、ちょっと記憶に残りやすいといいますか、意識しやすいっていうところもあったりするので、たくさん情報はいただくんですけどもどれが重要か重要でないかっていうときに、大体ちょっとぱっとちらっと見て終わるっていうのが、ほとんどかなっていう、中にはちょっとこう目を通すっていうこともあるんですけども。</p> <p>何か工夫があればなあいうことは思いますね。</p> <p>こういう仕事っていうかこういう役割をさせていただいているので、給食に関しての情報は特に気をつけて見ると、皆さんそうかな。</p> <p>すいません。学校でも工夫はされてるんだと思うんですよ。</p> <p>受け取る側からそれいかがですか、お母さん方。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと、確かにお手紙いろいろいただきます。</p> <p>子供が楽しみにしている給食、献立表は紙に色がついているので献立表自体はピックアップしやすいのかなと思います。カラーにした目につきやすい工夫が必要ですかね。献立表以外の給食に関するお便り、給食だよりなんかも挿絵なんかちょっと目につくのでいいかなと。ほかもしかしたらそれこそ教育委員会からの真面目なお手紙だったら見落とされるかもしれません。</p>
<p>委員</p>	<p>うち男の子、6年生なんですけど、ちょっと手紙を溜めがちでいっぱいになってくると出すのを忘れてたとかがあるので。大事なものはミマモルメでもらえた方が親の目には届きやすいかなと。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>ミマモルメもどんどん以前より活用されていると思うんですけど、あまりにも受信数が多いとまたミマモルメっていうので本当に大切なのがわかりづらくなる。兼ね合いかなと。</p> <p>情報を出す側も、ただ情報出せばみんなに届くっていうのは、実はこの時代になってもそうじゃないっていうのはちょっとご理解いただきたい。あまりにも多すぎて情報に溺れてしまっているところがあります。何か一工夫あるといいかな、特に重要なものについては。それでは次の議題に進めたいと思います。</p> <p>続きまして議題の(3)のその他の令和4年度異物混入発生状況につきまして事務局からご説明お願いいたします。</p>

事務局	<p>私からは、令和4年度の学校給食異物混入発生状況についてご説明いたします。資料5をごらんください。表1には食材に起因すると考えられる異物混入の件数を、表2には調理中などに混入したと考えられる事案の件数をお示ししています。</p> <p>食材に起因すると考えられるものにつきましてはパンへの混入が5件、ご飯への混入が6件、加工食品・デザートへの混入が20件となっています。</p> <p>次に調理中などに混入したと考えられるものについては、虫の混入が10件、ビニール片の混入が16件、髪の毛の混入が15件となっています。虫が混入した原因としましては、野菜に付着している虫を取り除けなかったことが考えられます。調理室では通常3回水槽を替えて野菜を洗浄し、虫が多い場合は4回目の洗浄を行います。それでも除去しきれなかった虫があり混入したことなどによるものです。ビニール片の混入については、食材を開封する際、2度切りすることで誤ってビニールの切れ端が混入したことなどによるものです。また髪の毛の混入については、調理員の髪の毛が混入したことなどによるものです。</p> <p>次に異物混入があった場合の対応につきましては、担任から管理職、栄養教諭、給食室へ報告がなされ、当日中に当課に一報が入ることとなっています。報告を受けた際は、まず健康被害の有無と児童生徒の対応状況を確認しまして、調理中と考えられるものは調理員や栄養教諭などに対して徹底調査を指示します。また当課の栄養士が電話や学校を訪問するなどして状況を聞き取りながら、異物混入防止対策マニュアルに沿って指導しています。</p> <p>食材起因と考えられる場合は、異物を当課へ送っていただき当課から食材業者に異物の特定や原因調査を指示しています。後日、食材業者から調査の結果及び改善策などを記載した報告を受けまして、再発することのないよう指導を行っています。</p> <p>児童生徒と保護者への対応につきましては、まず学校が児童生徒に謝罪と原因の説明をし、状況によりましては電話や家庭訪問により保護者へ謝罪、原因などの説明を行っています。今後につきましても、異物混入防止対策マニュアルの遵守、業者への指導、調理員などへの研修による啓発を徹底しまして、安全安心な給食の実施に努めてまいります。</p> <p>異物混入につきましては、以上です。</p>
会長	はい、ありがとうございます。それではただいまのご説明につきまして、ご質問ご意見等ございますでしょうか。今年は夏が暑くて虫がたくさん。
事務局	<p>はい。今年度の傾向といたしましては、まだこれは4年度の実績ではあるんですけども、5年度については、ちょっと虫の混入といったところが増えている。</p> <p>また時期が、例年より秋口に近いといいますか、ちょっと遅れてというようなところが、今年度の傾向ではございます。</p>
会長	カメムシが、そうですね、今日も自転車に止まってました。寒いのに頑張ってるなあと。ちょっと。暑い期間が長かったので、虫が大量発生したんだろうと。秋口に入って復活してきたとか。ちょっと、虫の動きもなかなか読みづらい。
副会長	厨房の中にやっぱり虫が入ってくると思うんですが、網戸のほつれやそれから扉を開けるときの注意、それから二重扉になっているかどうか、そのあたりも対策をとられないと入り続けると思いますね。それから下処理の部屋と調理室の間にはきちっと扉があって、ビ

	<p>ニールのカーテンとかそういうところもありますけれども、HACCAP 対応で下処理室と調理室が区別される。いろんな対策をとられないとこの数字は減らないと思います。減らすための市として対策をお考えになった方が。調理員さんへの教育も重要だとは思いますが。</p> <p>調理員さんも、気はつけてるけどもやっぱり、全員で解決するように努力される必要があると思います。</p>
事務局	<p>おっしゃられた給食室の構造上異物が入りやすくなってる、修繕が必要な箇所などにつきましては、年に一度施設の担当が学校を訪問させていただいておまして、そこで主にチーフ調理員の方から、工事であったり、修繕が必要な場所というものを確認させていただいておまして、もちろんすべてのご要望について、予算上、賄えるものではないんですけども。</p> <p>そういった児童生徒に危険が及ぶものであったりとか、給食自体が停止してしまうものというのを優先して、修繕等をさせていただいておりますので、また今後も引き続き行っていくとともに、新たなハード面での工夫によって、そういったものが防げるものがないかといったところも研究して参りたいと思います。ありがとうございます。</p>
委員 事務局	<p>調理中に混入したものの、その他はどんなものがあつたんですか。</p> <p>たとえばアルミホイルであったりとかですね、給食室に置かれている備品といいますか、そういったものが一部混入してしまったという事例があつたというところですか。</p>
委員	<p>その日の給食に本来使われるべきでなかったものが混入した事例があつたかと思うんですけど、小学校の方で、スープの中に。</p>
事務局	<p>それは具体的にどういったものですかね。</p>
委員	<p>多分野菜だと思うんです。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>本来使われるべきでなかった材料が入ってたって聞いて。途中で気づいて、一応一旦食べるなってことでストップがかかって、まあ大丈夫だったのでということで学校の方からもお手紙があつたんですけども。</p>
事務局	<p>今年度ということですよ。</p>
委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>あれですかね、糸こんにゃくのですかね。</p>
事務局	<p>ですかね。</p>
事務局	<p>もちろん異物混入があれば報告はすべていただいているものになりますので、その事例かどうかちょっとわからないんですけども、工場の作業工程の中で、おそらく糸こんにゃくだつたかなと思うんですけども、前のラインに乗っていた製造のものというのが、誤って製造過程の中で除去しきれずに、その食品に混入してしまったという事例というのは、いくつかちょっと報告の方受けておまして、もちろん人体に好影響を及ぼすものではないんですけども。やはり原因がすぐにはわからないものについては、給食のストップを学校長判断でしていただいたといった事例もありますので、そういったところでは本来給食というのはその日に届いて、食材をもうその日に使い切るという形。冷凍のものは前日か</p>

	<p>ら入れているものもあるんですけども。 なのでよほどのことがないと、ほかの食材がまざるということはないんですが。まれにその製造過程の中ですとね、そういったところから混じるといったところは、これまでもいくつか報告を受けているところがございますので、そういった場合は業者に対してのですね、再発防止であったりを徹底して、そういったところを指導しているところがございますので、もうその節は大変ご迷惑をお掛けいたしました。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>野菜だったかと思います。 すいません。ちょっとすぐに私も出てこないのもまた、はい、ちょっと確認をさせていただきます。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>西宮市は、自校式の調理室のプロによる清掃っていうのは、年に何回ぐらいされていますか。 今はそうですね、業者さんが入っていただいているのは、年3回フードの清掃を、学期末ごとに、今年度から学校給食の予算で実施をいただくことができおまして。 あとダクトの清掃というのは、これはちょっと全校でできませんので、何年かおきに1回という形で、ダクトの清掃はしていただいているところではあります。</p>
<p>副会長 事務局</p>	<p>下水の方は。 そうですね、グリストラップの清掃も市の予算の方でさせていただいているところでありませぬ。</p>
<p>副会長 会長</p>	<p>うん。年3回されてるといいなとは思いますが、やっぱり毎日調理員さんがそこまではできませんので、プロの方に入っていただくのが大事だと思います。 他、よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、続きまして議題(3)その他のウ、令和4年度学校給食事業場における公務災害事故発生状況について、事務局からご説明お願いいたします。 はい。学校給食事業場における公務災害事故発生状況について説明させていただきます。資料6を御覧ください。令和4年度に発生した公務災害事故発生状況についてお示ししております。合計発生件数は17件となっております。令和3年度が15件、令和2年度が17件であったため微増の状況です。事故の内容別に見ますと、いずれの年度も切創が最も多くなっております。 令和4年度に発生した主な事故の状況を記載しております。切創事故は包丁やスライサーの刃などが原因で発生しており、特にたまねぎの芯とり作業中に大きな事故になるケースがありました。切創事故の件数を減らすことが、公務災害を減らす大きな要因となりますので、保護手袋を試験的に活用するなど対策を進めております。 公務災害事故につきましては、月に1回開催する学校給食事業場安全衛生委員会において、事故状況の検討を行っております。この安全衛生委員会につきましては、総括安全衛生管理者の教育委員会参加、安全管理者の学校給食課長、衛生管理者の学校給食課職員、産業医、委員として学校管理課長、チーフ調理員2名、会計年度任用職員の調理員2名の計9名で組織しております。なお、学校給食課職員も事務局として参加し、委員会で出た意見の調査や、原因と考えられる施設の不備等があれば対応を行っております。</p>

	<p>また、安全衛生委員会では、公務災害事故状況の検討に加えて、労安ニュース「安全と衛生」の発行や、年に2校の給食室を視察しております。また、啓発スローガン、ヒヤリハット報告の募集、等様々な事故防止のための活動を行っております。</p> <p>令和3年度から公務災害の再発を防ぐため、リスクアセスメントという手法を導入し、公務災害が発生した調理場のチーフ調理員に対応策を記入していただき、安全衛生委員会内で協議を行っております。</p> <p>今後も事故防止に向けて、啓発活動を行ってまいります。学校給食事業場における公務災害事故発生状況については以上です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。それではただいまの説明につきましてご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>なかなか減らないですね。</p>
事務局	<p>さっきの空調のこととか猛暑のこととかあるので、何月が起りやすいとかあるのか。あと玉ねぎがけがしやすい。玉ねぎが傾向なんですね。</p>
委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>特に夏休み、夏の期間というよりは長期休業が明けた後っていうのはやはり事故が起きやすいという一定の傾向がございます。久々の調理作業といったところで、暑さにも関連するかもしれないんですけども、そういった意味では夏休み以降の9月であったり、10月であったりというところ。また職員が入れ替わる、年度当初。これについては、やはり要注意だと感じております。</p>
事務局	<p>この休業日数が入ってないのは、休まずに出勤された。</p>
委員	<p>その通りでございます。</p>
事務局	<p>骨折とかされても。</p>
委員	<p>そうですね、調理業務に影響がなかったといったところですね。</p>
副会長	<p>そうなんですね。わかりました。</p>
委員	<p>玉ねぎはむいてらっしゃると思うんですけど、南瓜とかはもうカットしたものを買ってるんですか。</p>
副会長	<p>柔らかくして、切るようにしています。湯がいてから切るようにしています。</p>
委員	<p>南瓜とかの方が、ぱっといきそうな感じですけど。</p>
副会長	<p>玉ねぎはすべりやすいみたいで、朝一番の仕事なのでやっぱりこう集中力があるんじゃないかなというふうに思うんですけども。</p>
委員	<p>手袋はされてるんですよね。</p>
副会長	<p>手袋は保護されるためにされる方としてない方もおられると思います。</p>
委員	<p>すべらないゴム手袋ってあるじゃないですか、それをさせていただいて玉ねぎを持たれても。</p>
副会長	<p>いい手袋をご紹介いただいたので、それが広まればいいなと思います。</p>
事務局	<p>いい手袋あるんですか。すべらない。</p>
事務局	<p>そうですね、今年度ちょっとどういった手袋が作業効率を落とさずに、実際取り入れられるかというところで、この安全衛生委員会の方でチーフ調理員の方に見ていただいて、こ</p>

	<p>れであれば一定、作業効率も落とさずに、できるかなというご意見をいただいて。そのチーフ調理の方の実際調理場でもちょっとご活用いただいて、比較的好評だということをご意見いただいておりますので、またこのあたりが各学校様の方に周知ができればなというふうに思っております。</p>
副会長	<p>大量調理器具の展示会っていうのがあるんですよ。そこ行くと、本当に我々がもう目からうろこのような、もう面白いものも、珍しいものも結構展示されていますので。ああいうところに栄養教諭の先生方が研修に行かれたらいいなと思います。</p>
委員	<p>先ほど長期休業明けに多いような印象があるということやったんですけど、やはり私も今年の9月はすごく暑かったなという印象があります。</p> <p>子供たちも、北海道の方でも事故もあったりして、熱中症指数があったので9月中はほぼ外遊びなしみたいな状況で過ごしておりました。</p> <p>やはり、空調がありがたいかな。関係あるように思います。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>そうですね。</p> <p>空調はおっしゃる通り、労働改善だけではなく、献立の制限もかからないことであつたりとか、非常に効果的であるっていうのは重々認識はしておるんですけども、予算の確保も難しい他に、どうしても給食を止めることができないところで、教育活動に配慮して、工期が夏休み期間中にどうしても限られてしまいます。</p> <p>その中で、業者さんを見つけるのはなかなか難しいところもあるんですけども。ただそういった現場のお声というのは重々委員会の方にも届いておりますので、こちらも可能な限りですね、予算確保に努めて参りますので、よろしく願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは続きまして、議題(3)その他のエ、令和5年度学校給食について事務局からご説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>調達チームの辻と申します。私からは今年度の学校給食についてご報告申し上げます。それでは資料7「1」をご覧ください。まず学校給食費の改定についてです。令和5年度より、小学校・義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部は1食あたり25円増額の275円、中学校・義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部・高等部は1食あたり28円増額の325円とさせていただきます。改定後の増額部分に「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当することで、令和5年度については保護者負担額を改定前の金額のまま据え置いております。</p> <p>この度実施した学校給食費の改定につきましては、資料7「2」をご覧ください。改定率は令和元年度から令和4年11月までの消費者物価指数の変動率を基に定めております。しかし令和4年11月以降も皆様ご承知のように物価の高騰が続いており、直近の指数である令和5年9月時点では、給食費改定時点となる令和4年11月時点と比べ、7.2%の上昇が見られます。夏の猛暑や梅雨時期の多雨など気候変動を原因とする青果の生育不良等による価格の高騰をはじめ、原材料価格に加え、光熱費の上昇に伴う倉庫等の維持経</p>

費増を受けた加工食品の値上げ、また燃料費や人件費の上昇による物流コストの増大等、給食を取り巻く情勢は大変厳しいと言わざるを得ません。

保護者等から徴収する学校給食費は主食・牛乳・おかずの「食材購入費」と「運送委託費」に充てられますが、この収支が赤字になった場合、原則として学校給食費基金を取り崩して補填することとなります。このまま物価指数が高止まりし、国からの交付金の手当てがなされなければ、基金に頼らざるを得ず、その基金残高も令和7年度には枯渇してしまう状況にあります。

こうした厳しい状況の中、以前より実施している献立の工夫に加え、令和6年1月以降の献立からは、1食あたり価格の低減に向けた更なる取り組みを進めております。肉類では、牛肉に比べ食材価格が安価となる豚肉・鶏肉の使用回数増、牛乳に代え、食材価格が安価となるジョアの使用回数の増などが挙げられます。

資料7補足資料では、参考として令和4年度決算額より算出した米飯とパンの食材単価を記載しております。このうち米飯については自校炊飯の単価が22.74円であるのに対し、委託米飯では64.43円と、その単価に大きな価格差があることから、自校炊飯の拡充は1食あたり価格の低減に大きく寄与する有効な選択肢の1つであるとも考えております。

令和6年度には、委託米飯、パン、牛乳の価格も更に値上げされることが見込まれており、引き続き本市の学校給食が置かれている状況について献立を立案する栄養教諭と情報を共有しながら、支出額の抑制に努めてまいりたいと考えております。

最後に補足としまして、今後の自校炊飯についてご説明させていただきます。

先ほど献立価格を低減する方法のひとつとして、自校炊飯の拡充についてご説明いたしましたが、現在の本市の米飯給食は週3回実施をしております。

ここで、当日資料の「学校給食基本方針」をご覧ください。ご覧いただきたいのは、最終ページの「Ⅲ効率的な運営 3 米飯用食器洗浄と米飯の自校炊飯について」です。

現行の学校給食基本方針では、自校炊飯についてこのように規定されております。「(2)米飯の自校炊飯については、炊飯加工賃及び配送費が節減できる反面、炊飯器等の給食機器整備及び調理員の追加配置の他、給食室の拡張が必要となるため、費用対効果の点から引き続き委託での炊飯とする。」

しかし、先ほどご説明いたしましたとおり、自校炊飯を推進することは献立価格の低減にもなります。

さらに、資料7補足資料「学校における米飯給食の推進について(通知)」をご覧ください。この通知は、文部科学省が食の安心・安全の確保、食料自給率の向上や環境への配慮などの観点からも、米飯給食の実施回数について、斬新的に増加を促しているものです。

この通知によりますと、本市のように既に週3回の米飯給食を実施している学校については、「週4回程度などの新たな目標を設定し、実施回数の増加を図る」ことが示されております。

この通知に沿った対応を行うためには、炊飯回数を増やしていくことを目指さなければなりません。現行の委託炊飯については、委託費や炊飯量の限界があるため、更なる増加

	<p>は困難な状況であります。そのため、米飯の実施回数を増やすには、自校炊飯を有効に活用していくことが必要となります。</p> <p>もちろん、自校炊飯の拡充には、機器の設置や炊飯調理作業工程が増加するほか、炊飯機器を設置するスペースを新たに確保するために、給食室の拡張工事が必要となる場合が考えられ、課題もございます。市の費用負担の増加が伴うことから、全体の費用対効果を考慮しなければなりません。</p> <p>しかし、自校炊飯を拡充していくことで「献立価格の低減」と「米飯給食の実施回数の増加」を実現できる可能性が生まれてきます。</p> <p>そのため、まずは、自校炊飯の拡充について、どのようなメリットと費用負担が生じるのか等、課題の洗い出しや更なる研究が必要であると考えております。</p> <p>課題の整理を行った上で、今後、審議会において意見をいただきながら、全体の費用対効果を考慮しながら、実施に向けて検討していきたいと考えております。</p> <p>私からは以上となります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>それではただいまのご説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>はい。いいですか。</p> <p>すいません。</p>
<p>事務局</p>	<p>参考のところの、米飯パンの単価で自校炊飯は22.74円ということなんですけど。これは、どうやって計算されたというか私のイメージでは自校炊飯は炊き込みご飯、僕はそういうことになると思うのですが。それと委託米飯はちょっと比較ができるのかなというのを思っております。</p> <p>こちらがですね、今校長先生の方で指摘いただきましたように、自校炊飯で提供させていただくご飯につきましては、炊き込みご飯ということで、白ご飯ではない形で提供させていただいております。委託の炊飯につきましては、基本的には白ご飯をご提供させていただいております。</p> <p>こちらの自校炊飯の価格につきましてはですね、お米の食材価格を書かせていただいた形となっております、なので、単純な比較ではない状況となっております。この委託米飯につきましては、炊飯の委託であり、お米の価格に加えまして、炊飯するための加工賃でありましたり、それを学校様へ配送させていただく配送費も含めました金額が64.43円となるんですけれども。こちらの自校炊飯につきましては、純粋なお米の価格というふうにとらえていただければと思いますので、当然それを例えば調理員の方が手をかけていただいて炊飯をしていただくといった、そういったお手間の費用というところは、入っていない金額となりますので、純粋な同じ条件下での比較ではないという形となっております。</p>
<p>会長</p>	<p>今後これを分析される際には、学校で炊飯したときの、本来のコストとか手間、洗浄が必要になるとして、ということになるんですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>その通りですね。自校炊飯というのが、今おっしゃったように、まぜご飯であったりいわゆる変わり種のご飯といったところしか今提供できていないんですけれども、この一つの理由として、今給食室に炊飯機器というのが、西宮市の場合ないので、この自校炊飯する</p>

時ってというのは、お釜を使って炊飯しています。

ちょっと全国的な委託業者に聞いてみたんですけども、なかなか全国でお釜で炊く市町村があまりないらしくて、本当に珍しいことをやっているの、調理員の方の技術が高いというふうに言われるんですけども、そういった都合で、釜でお米を炊いているため、本来おかずに使用できる釜の数というのが減りますので、どうしても品数が減ったりする。そういった影響により、ご飯と主食を混ぜ合わせた、まぜご飯というような献立というのを実施しているところでもあります。

そのため、白ご飯は委託をして、まぜご飯等を作るのは自校炊飯をすることによって少しでも価格を抑えられればというような運用をしておるんですけども。

やはり自校炊飯をこれから広げていくには、まずはその炊飯機器の購入であったりとか、またですね、作業工程が増えますので、今の調理工程であったり、調理員の人員でそれができるのかという問題。

さらに今米飯食器というのを、委託で洗浄の方を行っております。

これはですね、給食室の中に洗浄した後の食器を殺菌・保管するために熱風庫と言われる機器があるんですけども、その置けるスペースが限られておるので、自校では、やはり洗浄ができないために、外部で委託して洗浄していただいているという状況なんです。

今おっしゃられた通りですね、白ご飯のものが増えると、当然それを入れる食器、使う食器の洗浄の委託費というのがまた増大していくことになります。

こういったところで、献立価格を抑えられたとしても、市の持ち出しの費用というのはどんどん増加していくものになりますので、このあたりの費用対効果というのはきちっと検証した上で、本当に優位性があるのかどうかというのを確認させていただいた上で、推進の方はしていきたいというふうには考えているところでございます。以上です。

会長

そうですね。この物価高騰で、今回令和6年からですね、いろいろここに書かれてるような給食メニューのコスト削減のための取り組みはされてるんですけども、すでにされて、実はずっと前よりも、今ちょっとメニューの質といいますか、バラエティーといいますか、が落ちている中で、さらにこれをやらないといけないうのがこの物価高騰によるですね、収入がもう我々の給食費を上限とするものになってますから、その範囲の中でやるということになれば、コストを抑えるしかないので、メニューの内容が魅力的でないものにならざるをえないというのが、もう続いてしまう。

そうなりますと、やっぱり、親として子供たちに楽しい給食を、おいしい給食をつていうことになれば、当然物価が上がる部分についての費用負担、食材費だけ私たちが負担してるんですけど、食材費が上がれば、それも負担しなければ、給食ができません。

今3年に1度の給食費改定とかいう取り組みをされて、コロナ禍があってちょっとその辺りが少しく、タイミングがずれてきたりはしてるんですけども、本来給食って、その年に食べる人がその年の分の費用を負担するという事なので、3年間でトータルしてっていう話は、例えば私水道専門家なので、水道料金って5年でトントンになるように計算してます。

だから最初上げといて、収入が減っていくので、あとで赤字になっても最初に、儲かって

	<p>る分であとの赤字はちゃんと相殺するってことで、5年ごとの改定とか、そういう複数年で収支が合うように、設定はするんですけど。</p> <p>給食って単年度ごとに合わせていかないと、当然その年に食べる子供の親がそれを負担するわけですから。やはり、将来物価が上がるから今のうちにあげておきましょうっていう話が、じゃあ今食べてる人が、親が負担して、将来負担するっていうことはちょっとどうなのかなっていうことなんでやはりこれだけ物価が、変化している、安定してればそういう問題は起こらないんですけれども。</p> <p>物価がこれからちょっと上昇傾向にある中で、数年間給食費を据え置くんっていうことをすると。今のメニューの質を落としていかないといけない。</p> <p>年によってメニュー、食べるものが違ってくるっていうのもまた、おかしな話ですし。そういう意味では、場合によっては、もう毎年本当に、物価の上昇に見合った給食費の改定っていうのを、我々しっかりと提案して行って、市長に、英断を迫る必要もあるのかなということも考えられる。いかがですか。</p>
委員	<p>やっぱり家庭から持ち出しが増えるっていうのも致し方無いなど。エビフライの回数が減っているとか牛肉が減っているとか。やっぱり季節のものや行事食を提供してほしいので、理解はしています。</p>
事務局	<p>たとえばお米だけ家から持ってくる、もちろん持ってこれないおうちもあるとは思いますが、たとえば。別に。炊飯器買わんでええからその分おかずに。</p> <p>ごめんなさい、あの実現無理だなんてのはわかるんですけど。</p>
事務局	<p>いや、でも斬新な切り口です、はい。</p> <p>なるほど。</p>
会長	<p>そういう意味ではね。そこで作る。西宮は、各学校ごとに作っていただいているので、非常に温かいものをそのまま食べられる、飲める。</p> <p>いかがですか。</p>
委員	<p>私も西宮育ちで昔から給食を食べてきてるので。昔から比べると最近給食寂しくなっている思いがあって。給食物資の会議にも出させてもらってるので、全体的に値上がりしているのはすごく実感していて。なので給食費の値上げも仕方ない。1月から3月の給食内容も大分変更になってると思うので。</p> <p>もう私個人としては今すぐにでも、子供たちが食べるものなので値上げしてもいいのかなというふうに思います。</p>
委員	<p>私も値上げは仕方がないというふうに思います。今年度になって試食会の方を再開させていただきまして3学年にわたってやりました。たくさんの方が来ていただいて、給食の方を見ていただいたんですが、概ね好評ではあったんですけど、やはり品数であるとか、ちょっと寂しいなということが話としてありました。もう1個は、これは学校の方の指導の問題だと思うんですけど、1年生とかがどうしても食べる量が、なかなか頑張っって食べられなくて、そんなすごく厳しい給食指導はしておりませんし、頑張っって食べようねっということで目標立ててやっているんですけど、やっぱり食べたことがないものはちょっと食べられないであったりとか、これは嫌いっっていうこともあったりしてその辺も保護者</p>

委員	<p>とは共有ができました。</p> <p>実際今献立を立てる立場として、この価格は本当に厳しいです。給食の役割って大きいなというふうに思いました。やっぱり教育的側面も大きいので、今おっしゃっていただいたようにその月その月で取り入れていかないといけない行事食であるとか、旬の食材は出していかないといけない。という反面、お金がっていうのがあって。やっぱりどうしても必ずこの献立は入れないといけないから、じゃあこっちの献立はやめようかという考え方になってしまうので。少し前に戻って、楽しく献立が立てられたらいいなというふうには、ここ最近は思っています。なので給食費、もうちょっと増えたらいいなというふうには思っています。やっぱり栄養価を確保しないとけませんし、物価が上がってきて食材費も上がってきていうのもわかりますし、つらいところだなと。ちょっと3学期が、子供たちの反応がこわいなというふうには思いますけれども。</p>
会長	<p>私たちが最初来た頃って、最初に大分こう節約してたので、年度末には少しく贅沢な給食になるっていうようなお話をお伺いしてたんですけども、今逆ですね。</p>
事務局	<p>今年度の状況でいきますと、前半の方は、予算内であったりとか少しオーバーするぐらいの推移できたんですけども。</p> <p>やはりこの猛暑の影響で、青果類が夏以降、グッと値上げとなりました。このところはやはりちょっと読みきれないところがございます、そのため後半以降がかなり歳出超過が、発生してる状況ですので、以前のような形ではなかなかこちらでもコントロールできていないというところが現状でございます。</p>
会長	<p>給食費改定してそれですよ。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>前倒しで献立を立ててますので、5年度の1学期、2学期あたりはたぶんいけるだろうという感じで、献立を立てさせてもらったなという記憶があるので、5年度に入ってから後半の献立を考えてますので、そこからちょっと厳しくなってきたなというふうには思いません。</p>
会長	<p>このままいくと基金のお金が全然なくなるっていうことですけど、そもそも基金っていうね、今回の物価変動を吸収する目的じゃなくって、本当にね、何かいろいろな猛暑は今年も猛暑だったんですけど、もっとこう米の不作などそういった事態に備えてるものですよ、一旦そういうことがあったとしてもまた基金積み立てて、いずれまた起こるであろうということに対して、きちんと安定的に持っておくっていう意味での基金だと思うんですけども。</p> <p>これ毎年これから基金取り崩して取り崩してっていうんだったら、枯渇することが問題じゃなくて、そもそもそこに基金を充てなければならぬっていうのが問題だとすれば、やはりその物価の変化にやっぱりちゃんと連動した給食費のあり方っていうのを考えないといけないと思いますね。</p> <p>これは、令和4年、5年から急にまた大きく上がってるので、ここは今までのトレンドから見ても、ちょっと勢いが。物価の上がり幅がちょっと大き過ぎるところなので。ここはちょっと、緊急にですね。給食費の改定といいますか、給食費の見直しを市長にご提案い</p>

	<p>ただかないと本当に給食のメニューが品数が減ったり、質が落ちたりせざるをえない。なので、子育ての市ということで西宮市も大分アピールされていると思いますので、そこは給食費の低減だけじゃなく、やっぱり充実感っていう意味でもしっかりとご判断いただきたい。</p>
委員	<p>保護者の中には、給食費無償化運動とかビーガン給食取り入れたらとか無農薬運動とか、夢見がちというかなので大分説明は大事なのかなと。あと子供たちも、特に最近小学校もですけど、不登校の子が多くて、常に中学校だったら1クラス4人くらいは毎日欠席してるといことで、うちの娘なんかは、品数は多いけど量が多い。余る。無理して食べてるそこがちょっと繋がりにくかったり。うちの子は私が野菜高いってため息ついているので</p>
会長	<p>10億って今回も、給食費の総額、10億をどっかから持ってこないといけない。 なので、その給食無償化するという事は、ただその、我々が負担が減るんじゃなくて、我々が本来享受している他の行政サービスを放棄して、給食費に10億当てるってことなので、その10億をどこから持ってくるかっていうのが、財源の問題ですよ。 下水道が戦々恐々としてるのは下水道の投資すべき10億が給食費に取られるんじゃないかということです。 下水道の10億がなくなれば、当然リスク、事故のリスクが増えますので、だから、バランスです。 なので、そういった政治とか行政の中の争いに巻き込まれるよりは、きちんと給食費として私たちが負担して、安定的に持続させる方が、だからその10億を捻出する手段がなくなれば、給食がなくなるっていう行政判断になってしまいますので。 私たちがちゃんと給食費負担しますから。だからなくさないでくださいっていうことは強く言える立場になります。 そういう意味では、その無償化っていうことをおっしゃる方もいるんですけど。その裏に何が起こってるかっていう、やっぱりご理解いただかないと。なかなかそこは。我々が費用負担しているということは我々は責任を持ってきちんと、この場を使って発言するとか、或いはPTAの会合で意見を持ってきていただいてここで、提案していただくとか、そういった積極的に関われる立場にありますので。それでも、毎年毎年、安定して提供いただけるようにお考えいただきたい。合わせてやはり上がっていくってことはつまり、負担できない方々が増えてくる可能性が。当然生活困窮者の方々もいらっしゃいますし、非常に厳しい中でいろいろな物価が上がってご苦労されてる中で給食費もってなると、本当に大変な思いをされることになるかと思えます。 そこを合わせて、これは給食の役割ではないんですけども、西宮市としてきちんと、生活困窮者でご負担いただけない方々に対しては別途、市の方で、きちんと手当していただけるようなことも併せて。ただ上げるだけじゃなくって、きちんと困ってる方々には、ちゃんとそういった支援の手が届くんだっていうこと併せてご検討いただければと思います。</p>
副会長	<p>市町村によったら、週5日もうすべてご飯という市町村もあるんですね。日本の中には。ですから週3回のご飯というのはもっともなレベルかなと思うんですけども。今あの自</p>

	<p>校式の炊飯ができない、白ご飯ができないというのは前から聞いておりましたので。センター式でなければ、やっぱり厳しいと思うんですね。材料費とかいろんな高騰で今話題になっているかと思うんですけど、もう一度野菜の購入ルートだとか、食材料を入れるところから見直して、兵庫県に決まったところもあるんですけど例えば本当に、余ってる野菜もたくさんあるんですね。形が歪なものとか、そういうのは捨てられてるところもたくさんありますので。いわゆる学校給食で小さく刻んでしまうものならば、別に歪なキャベツでもいいし、やはり白菜しても。ですからそういう購入ルートから見直し、そして食材料と新鮮なものにして、価格はどうしても保護者の負担をお願いする。</p> <p>だからそこは、話し合って納得していただいて、値上げをされる。ていう手段も必要だと思うんですけど。</p> <p>やはり市が補うところは、来年の1月から3月は、やっぱり市が援助しましょうとか、そういう必要性もあるんじゃないかなと思うんですね。</p> <p>最終的には子供たちが、美味しくそして、心に残る給食を作っていただかないといけないと思うんですね。最終的に子供たちが、楽しく、そして西宮市に生活してて、僕たちよかったなって思うような、学校給食をお願いしたいなと思います。</p> <p>私からはそれだけです。よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>今、たくさんご意見をいただいた中で、浦上会長もおっしゃった通り3年に1回見直しする機会を設けていまして、前回見直したのが令和5年ですので、このままいくと令和8年度、の見直しということになるんですが、やはりこの物価の今の水準であったりですね、この基金の残高であったりとか、あと実際のその栄養価の担保が本当にできるのかであったり、そういったところというのをきっちり分析の方向の上で、また、値上げだけに頼るのではなく、やはり先ほどおっしゃられたその食材の購入ルートであったりとか、市の今のこの取り決めの中で工夫して、何か低減できるようなものがないかというのも、これも併せてやっていくことは重要ななと思いますので、単に上げるといったところ頼るのではなく、工夫を行った上で、やはりそれでも難しい場合は、8年度を待たずに、ちょっと改定といったところも検討はしていきたいというふうには考えております。</p> <p>1点ですね、配布資料に残高、基金残高をグラフにして示させていただいているんですけども、これ作った時期が補正予算を組んだ時なんですけど、今年度につきましては、少し交付金が充当できるめどが少し立ちそうではございますので、残高については、ちょっとこの推移はいかないかなというところで参考程度にまた見ていただければと思います。</p> <p>こういった基金の残高といったところっていうのも、きちっと把握をしながらですね、改定といったところというのも、随時検討をして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは最後、連絡事項等は事務局の方からありますでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、なしです。大丈夫です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。それではもうぴったし12時。ご協力いただきましてあり</p>

ありがとうございました。

それではこれをもちまして、令和5年度第1回西宮市学校給食審議会を終了させていただきたいと思えます。

今日はどうもありがとうございました。